

風の子



松山市立窪田小学校

R 8. 1. 23 No9

<https://kubota-e.esnet.ed.jp/>

凡事徹底 ～いつも通りの大切さ～

校長 大倉 匡仁

思い返すと2年前は、正月の能登半島地震、翌日の被災地救援用の航空機事故と、重苦しい新年の幕開けでした。現地の復興、住民の安心安全の回復にはまだまだ時間が掛かるようですが、去年今年は穏やかな年明けて、いつも通りがいかに幸せかを実感しているところです。

子供たちに、3学期始業式の校長式辞で、次のような話をしました。

「さあ、今日から3学期が始まります。学校に来るのはたったの51日。更に6年生は他の学年より1日短く、あっという間に卒業式がやってきます。『卒業生』となる自覚を持ち、中学への準備とともに、6年間の小学校生活のまとめをし、これまでの自分自身をしっかりと振り返らなければなりません。12歳ともなると、そろそろ家族や先生の言うことがうっとうしく感じたり、返事すらしたくない気分になったり…、それよりも友人との関係の方がとても大切だと思えるようになってきます。これは、子供から大人へと自立しようとしている心の成長の証、第二性徴期（いわゆる反抗期）というものなのですが、気持ちは心掛け一つで変えることができます。今を大切に、数々のすてきな思い出を胸に卒業の日が迎えられよう、悔いのない学校生活を送ってください。そして、卒業の日には、感謝の気持ちを、お世話になった方々に恥ずかしがらずに伝えてください。そのためにも、2学期の終業式でお話した『自分でやると決めたことはきちんとやり遂げ、最後の見届け（振り返り）までをしっかりとる』ことを、3学期も継続してほしいと願っています。

全校のみなさんに伝えます。私は、やると言ったのにやらなかったり、100%の力を発揮しないでいい加減に済ませてしまったりすることは大嫌いです。『凡事徹底』という言葉があります。『凡事』とは、特別なことではなく、普段自分がしていること、できていることであり、やるのが当たり前のことです。『徹底』とは、それを必ずしっかりとやり遂げることです。『凡事』は新しいことや難しいことではないので、誰にでも絶対にできます。ただし、そのいつも通りをもう一回見直し、忘れずしっかりと最後までやり遂げることは、実はとっても難しいことなのです。自分に厳しくなければなりません。だからこそ、大切なことなのです。『〇〇さんもやっていたから…』なんて言い訳をしてしまう人にはまずできないことです。『廊下を静かに歩くこと』『靴やスリッパ、傘を整頓すること』『通学路を1列で安全に歩くこと』など、どれも『凡事徹底』に心掛けてください。」

低学年には少し難しかったかもしれません。おまけに、冬休み明けの肌寒い体育館でした。にも関わらず、どの子も姿勢を正し、真剣な表情で話を聞いてくれました。さすが窪田っ子です。

「最後にもう一つ。4月になれば、今の教室で、今の先生、今の仲間と過ごすことは二度とありません。いつも通りでなくなります。それは、新しい場所へ、それぞれの道へとみんなが進んでいくからです。3学期最後の日に、『ああ、この1年間、このクラスの仲間と一緒に勉強したり遊んだりできてよかったな。もっともっとこのままでいたいなあ。みんな、ありがとう。』そんな感謝を胸に、新しい一歩が踏み出せる日が来るよう、残り少ない毎日を仲良く楽しく過ごしていきましょう。」

このような言葉で式辞を締めくくりました。

校庭の木々は、北風の中でも春がそこまで来ていることをちゃんと知っていて、新芽を膨らませながら、光あふれる暖かな季節の到来に備えています。子供たちは寒さに負けず、運動場に出て走り回ったり縄跳びをしたりと元気に過ごしています。学校教育における凡事とは、「子供一人一人を深く理解し、大切に思うこと」「子供に対しどこまでも正直であること」の二つに尽きると私は信じて疑いません。この凡事がいかに繊細で重要なものであるかについて、教職員に働き掛けながら年度末に向けての教育活動を推進してまいります。どうかよろしくお願いいたします。

～委員会活動を紹介します～

「運営委員会」

毎月の「いじめ0の日（スマイルデー）」では、「ハイタッチあいさつりレー」を行ったり、朝のテレビ放送で学級のみなどと楽しく遊べる遊びを紹介したりしています。窪田っ子みんなが元気に、そして笑顔になるように、アイデアを出し合いながら活動をしています。

「集会委員会」

「窪田レンジャー」や「くぼっしー」たち窪田小のキャラクターと一緒に、総体の壮行会やドレミファソラ詩集会の進行をしています。みなさんの思い出に残る集会になるように日々話し合い、準備をしています。オリジナルの集会も現在計画中です。

「図書委員会」

学習センターで本の貸し出しのお世話をしています。また、読書週間に合わせて、多読賞やお薦めの本の紹介、昼休みの読み聞かせなどを行いました。さらに、みきちゃん通帳に書かれた感想を放送で紹介するなど、みんなに読書に親しんでもらえるよう活動しています。

「掲示委員会」

「見た人が笑顔で元気になるような掲示物を作る」という目標で、毎月、季節感あふれる掲示を行っています。7月の七夕飾りや11月のハートカードでは、全校に呼び掛けて、みんなて掲示を完成させました。もっと窪田小学校が明るくなるように活動していきます。

「放送委員会」

朝や給食の時間の放送で、お知らせやアナウンス、テレビ朝会などを行っています。正しくはしっかり読んだり、スムーズな機械操作をしたりすることを心掛けています。お昼の放送ではクイズを出題するなど、全校のみんなが楽しめるような工夫をしています。

「栽培委員会」

窪田小学校自慢の校庭の花や植物のお世話をしています。毎日、水やりや草引きを頑張っています。今年度は全国植樹祭に向けて記念植樹も行いました。春にはたくさんの花が元気よく咲き、学校が笑顔でいっぱいになるよう活動していきます。

「体育委員会」

体育館の窓開けや窓閉め、ボールの空気入れなどをして、体育の授業が円滑に進められるようにサポートしています。全校のみんなが運動に親しめるように、縦割りでの外遊びも企画しています。

「保健委員会」

みんなが気持ちよくトイレが使えるようにトイレットペーパーの補充をしたり、きれいに手が洗えるように石けん水の補充をしたりしています。また、熱中症や感染症が流行する時期には、校内放送で呼び掛けを行っています。

「給食委員会」

受け渡し室において、全校に給食を配る手伝いをしています。準備の時には、クラスを間違えないように確認しながら渡したり、片付けの時には、素早く返却できるように調理場の方と一緒に食缶をきれいにしたり食器を台車に積んだりしています。また、当日の献立を栄養素ごとに分けて掲示するなど、食の大切さについてみんなによく知ってもらえるための活動もしています。

防災訓練・命の教育

教頭 立花 学

1月19日（月）に地震と火災から身を守る防災訓練を行いました。サイレンと同時にみんな口を閉じ、緊急放送や先生の指示に従って、速やかに運動場に避難することができました。その後、4年生は煙の中の歩行、5年生は起震車乗車と消火器の使用、6年生は救命救急を体験しました。

先日、山陰沖で地震が起こり、松山市でも震度4を観測しました。ゆっくりと横に数秒間揺れただけでしたが、それでも大変な恐怖を感じました。南海トラフ巨大地震に備えて、このような訓練を積み重ね、いざという時こそ冷静に避難できるようにしたいものです。

《編集後記》

みなさんは、えひめこども美術展を御存じですか。この美術展には、県内ほぼ全ての学校から、図工・美術の授業や部活動でつくられた作品が持ち寄られます。今年度で53回を迎えた伝統あるこの展覧会の表彰式に、特選に選ばれた本校児童3名が出席しており、子供たちの笑顔は、努力や工夫が認められた充実感や満足感できらきら輝いていました。

私は、子供の絵を見るのが好きです。色や形の一つ一つから、その子がどのような思いでその絵を描いたかが想像でき、温かい気持ちになれるからです。絵に限らず、どのような作品からも、その子の心の世界がのぞき見られるすてきなメッセージを感じ取ることができます。今年も、教職員一同、子供一人一人の思いや努力の過程を大切にしたい教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いします。（西森）



窪田小
ホームページ